

平成30年11月16日

まちづくり委員会資料

請願の審査

請願第51号 横浜市営地下鉄3号線の延伸に伴う中間駅の設置に関する請願

資料 横浜市営地下鉄3号線延伸の概要について

まちづくり局

1 横浜市営地下鉄3号線延伸の位置付けと路線の概要

(1) 横浜市営地下鉄3号線延伸の位置付け

①川崎市総合都市交通計画（平成30年3月）

- 平成25年3月に策定した本市の総合都市交通計画は、当初計画策定から5年が経過したことから、これまで取り組んできた施策・事業の進捗や成果を踏まえるとともに、上位計画等との整合を図り、交通政策を取り巻く様々な状況の変化に対応するため、平成30年3月に中間見直しを行った。
- 横浜市営地下鉄3号線の延伸については、本計画において、将来目指すべき鉄道ネットワークとして位置付けている。

②交通政策審議会（平成28年4月）

- 平成28年4月、概ね15年後（2030年（平成42年）頃）を念頭に、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」（交通政策審議会答申第198号）が答申された。
- 横浜市営地下鉄3号線の延伸については、本答申において、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」として位置付けられている。

(2) 横浜市営地下鉄3号線の概要



図 横浜市営地下鉄ブルーラインの路線図

2 これまでの経緯と取組状況

(1) これまでの経緯

年月	内容
平成12年1月	●運輸政策審議会第18号答申 「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」 ・横浜3号線の延伸【あざみ野～すすき野付近～新百合ヶ丘】
平成23年6月	●横浜市との連携協力に関する覚書の締結 【要旨】 ・両市にまたがる横浜市営地下鉄3号線延伸及びJR南武線連続立体交差化の検討・調査について、相互に連携・協力する。
平成25年3月	●川崎市総合都市交通計画の策定 ・横浜市営地下鉄3号線の延伸をC事業（20年以内に着手を目指す事業）に位置付ける。
平成27年7月	●横浜市と連携し、「横浜市営地下鉄3号線の延伸」を交通政策審議会へ提案。
平成28年4月	●交通政策審議会第198号答申 「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」 ・地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」として位置付けられる。
平成29年2月	●横浜市長が横浜市会・平成29年第1回定例会で、平成30年度末までの事業化判断を表明
平成30年3月	●川崎市総合都市交通計画の改定 ・当初計画に引き続き、C事業（平成25年3月から）20年以内に着手を目指す事業）に位置付ける。
平成30年度内	●横浜市による事業化判断（予定）

(2) 現在の取組状況

- 【横浜市】**
〈都市整備局〉
・関係機関との調整や関連する交通基盤等に関する検討。
〈交通局〉
・3号線延伸の事業候補者として、鉄道事業者の視点で、ルートなどの基本計画や施工性などのハード面、需要の見通しや事業採算性などのソフト面について検討。
- 【川崎市】**
〈まちづくり局〉
・横浜市と連携し、本市にとってメリットの大きい計画となるよう、次の取組を実施。
①利便性向上やまちづくりへの寄与など、様々な観点からの3号線延伸に向けたルート等に関する比較検討。
主な検討内容
・中間駅の駅位置、ルート案の検討
・中間駅周辺のまちづくりに関する検討
・中間駅に関する都市基盤に関する整備可能性の検討
- ②新百合ヶ丘駅への接続による、ターミナル機能の強化に向けた基礎的検討。